

再び手にした清らかさ

希望が礎

私は息子を出産した後、ベットに横たわりながら、これまで見たことのない、この世で一番小さな人間である赤ちゃんを抱き、これはまさに奇蹟だと思いました。息子の小さな眼を通して、私は生まれて初めて神様を見ました。それは今までで一番幸せな時でした。でも、私は独りぼっちでした。これでもいいのだろうか？この経験は、夫といっしょに味わうべきではないのだろうか？しばらくして看護婦が部屋に入ってきて言いました。「新しくお父さんお母さんになった人の為に、キャンドルライト食事がホールであります。ろうそくの明りと静かな音楽の中で食事できるように用意しました。」私はひどく傷付きました。なんて無神経な看護婦なのでしょう。私は泣き出してしまいました。

その時私は、何故結婚するまでセックスをしてはいけないのか、ハッキリとわかりました。その日は誓いました。私と息子のいのちを神にゆだね、神に許しを願ひ、これからは結婚するまでセックスはしない、と誓ったのです。貞潔な人生をスタートすることを誓ったのです。

私は昔読んだことがある詩を思

い出しました。それは、「神に幸せを下さいとお願したら神は「いいえ、私は祝福は与えるが、幸せはあなた次第」とおっしゃった」という詩でした。私の人生の先にあるものは、私が自分で選ぶのです。私を選んでのは幸せになること、息子も必ず幸せにする為に自分の人生を捧げることです。神は私の人生に祝福を与えて下さりたかったです。神にそうさせてあげるのは、私は自分をいくつかの点で変えなければいけない、とわかりました。しかし誘惑に屈する可能性が大きい事もわかっています。私

が貞潔の人生を送る価値のある人間なのか、と自分で疑問に思うでしょうし、過去の罪の意識もあるし、未来が不安でもあります。私は自分一人が変わることは出来ないと思いました。でも神はそれのお恵みで可能にして下さったのです。祈りを通してのお恵みと、友人の言葉を通してのお恵みで。

はありえないけど、でも清らかさ

は取り返せるわ。」と自信を与えてくれました。その言葉は、なんて高い贈り物だったことでしょう。もつと早くに誰かが、私には夫となるべき人が本当にどこかにいる、と教えてくれていたら、と思えます。その人が神の手によって私の為に用意されていて、現われるのを待つ価値のある人で、また私も待つていてもらう価値がある、ということ

を覚えてくれていれば…。だから私はあなたの未来の相手は待つ価値があるし、あなたも待たれる価値のある人であると伝えたいのです。もしその前に間違いを犯してしまっていたらどうでしょうか。やり直せばいいのです。それが神の気高いところ。神は許して下さい、やり直させて下さるのです。どうやって私がそれをなし得たかですって？それはある決意をしたからです。私は自分の過去を責めないことを誓ったのです。今を生き、自分が経験して学んだことを聞いてくれる人には誰にでも話し、神の計画は神がいいと思う時に明かされることを知っているから、未来を楽しみにすることを誓ったのです。

キャシー・ブラウン



希望とは、しばしば言われるように、この世で特に試練や死に際した時には、ほとんど忘れ去られている美徳なのです。しかしながら、中絶反対運動や私達一人一人の努力はこの希望という美徳に基づいていなければなりません。というのは、イエスの名において、そしてその子一人一人に対するイエスの愛によって、すべてのことが可能であるという朗報を私達が知り、そのことを他の人と分かち合って行かなければならないからなのです。

聖母マリアについての瞑想の中で、テレンス・カーディナル・クークは次のように書いています。「私達の希望の基になっているものは神の全能の力と無限の慈悲です。私達は神を頼りに生きていくのであって、私達自身を頼りにしているのではないのです。神の恩寵を受けて、私達はすべてのことを行なうことが出来、善意を持つた人にとってこの恩寵が足りないことなど決してないのです。苦難や誘惑の最中にある時、人間の意志は神の恩寵と一体化して、崩すことのできなほほど強固なものになるといふことを知ると心が安らぎます。」

(4ページへ)

クリスマスが人類に問いかけるもの

いのちの神秘と尊厳について

12月25日がキリストの生誕日だということは信者でなくても知っている。実際にキリスト教国ではない日本でも、この日にパーティなどを開き大騒ぎをする。キリスト者の私たちにあってはどうか。子どもにとつて幼子の生誕は夢と希望を与える祝祭であり、大人の私たちにあっては主キリストの降誕であり、救いの夜明けの訪れを喜び感謝を捧げる大切な日だ。ところで

救い主の降誕を記念するこの日の祝祭が、人類に与える意味について誰が深く受け止めているだろうか。幼子イエスの到来が人類に与えるメッセージをどれほどの人が理解しているのか。実際にこの出来事の背景にある人類への強いメッセージ性とはかけ離れた現実が、日常の生活を営む私たちの環境内で起こっている。生命の尊厳と言いつつも弱者共存の尊厳を忘れ、強者側の判断や都合によって生命が脅かされ、断たれ、操作されている。人が他の存在に関与することは、そのいのちの成長に關与することであり、これを望まず妨げる権利などは誰にもないはず

だ。墮胎、幼児や高齢者に対する虐待、安楽・尊厳死、動物に対する虐待、またテロ行為による無差別殺人に対する報復が正当であるかのように戦争を起こしたりと、社会の日常には人間性の欠如や身勝手さがもたらす不幸が満ちている。

主の降誕の出来事に触れるとき、そこに重大なメッセージのあることに気づく。マリアはヨセフと婚約を交わしてはいたが同居する以前に、神のご意思によりその胎に子を宿す。これを知ったヨセフは彼女を迎えることに躊躇するが、それが人知を超えた神のご意思による結果であることを信仰によって受け入れた彼は、マリアとその幼子を護り育むことを自らの務めとして果たすのである。二人の体験が人類に与えるメッセージは、生命(いのち)の起源は人間の意志によるのではなく神のご意思によるものであり、人間の力によるものではなく「与えられた」ものであることを教えている。

また人間性をとられたイエスの成長と十字架の死に至るまでの過程を見ると、それを見守り養い育む側にあるヨセフとマリアの辛苦は大変なものだった。身重のマリアの長旅、馬屋での出産、エジプトへの避難、ナザレへの帰還など。ヨセフとマリアはイエスの父母として様々な困苦を体験することになる。神から預かった幼子のいのちを育む両親の体験は、一般の家庭がそうであるように心配や苦勞の連続の中にも、信仰者として神への信頼の下に幼子の成長に関わっていったのです。母として選ばれたマリアの真の陣痛は馬屋におけるそれではなく、主の十字架の下にたずんだその時であったと神父は語っているが、まさにその通りだ。

《いのち》を授かる「預かる」とはこういうことではないのか。ヨセフとマリアがそうであったように私たちも「宿されたいのち」の尊厳を思い、神のご意思による《いのちの存在》に対して自らの存在自体をかけて関わっていかねばならないのです。

聖家族が聖霊によって守り導かれた様々な困苦を乗り越えていったように、私たちも神への信頼の下にいのちに対処するとき、神こそいのちの成長に必要な力となつてくださるでしょう。待ち望んだいのちの誕生に多くの人は感動と喜びを覚え、惜しみなくいのちの到来に祝詞を贈るものです。

やがて時の満ちたとき与えられた使命を果たし終えたこのいのちは、神のご意思によって神のもとへと帰る。いのちの起源が神にあるように、死もまた神のご意思によることです。その神秘の前に人は何をかせん、です。みなに惜しまれ、悲しまれつつ世を旅立ついのちは幸いです。降誕祭に主の馬屋を訪ねましょう。産着に包まれマリアの腕に休む幼子のうちに、すさんだ心は安らぎを得、許せないと力む者には真の平和を、そして神が幼子のうちに置かれた救いの神秘をかいま見ることができましょう。あの貧しい羊飼いたちや、東方からの三賢者がそこで見たのと同じ感動に満たされるために。

最後に『知恵の書』の一節を紹介して終わります。ここで存在するものすべてが神のご意思によるものであることが語られています。

知恵の書 十一：24、26
「あなたは存在するすべてのものを愛し、造ったものは何一つ忌み嫌わない。もし望まないものがあつたとすれば、あなたはそれを形づくらなかつたでしょう。あなたが望んでいなければ、どうして物は存在し続けるでしょう。また、あなたに召されなかつたものが、どうして保たれたでしょう。生命を愛するまよ、あなたはすべてのものを惜む。すべてはあなたのものであり、あなたの朽ちない霊がすべてに及んでいるのですから。」

南雲正晴 (フランシスコ会司祭)

南雲正晴 (フランシスコ会司祭)

南雲正晴 (フランシスコ会司祭)

南雲正晴 (フランシスコ会司祭)

南雲正晴 (フランシスコ会司祭)

十代の性 (37)

質問：私達は、前は結構仲が良かったのです。でも時が経つに連れて離れていってしまいました。彼は私からの電話にも出たがらなくなりました。私は彼のことを深く信じていたのに、どうして彼はこんなことをしたのでしょうか？



平和を破壊するいちばん恐ろしいものは墮胎です。なぜなら、子どもを殺すのはその子の母親自身だからです。…若い女性達は両親を恐れ、世間の人々を恐れるあまりに、墮胎することがよくあります。でも彼女たちを助けなければなりません。

(マザー・テレサ)

答え：人は、時とともに変わります。そして人が人との関係に求めるものも、時が過ぎると変わるのです。あなたと彼との関係が長く続かなかつた理由は沢山あるでしょう。もしかしたら彼は一度はあなたに魅かれたけれど、それは後で消えてしまう程度の感情だったのかもしれない。またはあなた達両方、あるいはどちらか一人が変わってしまったって、趣味が合わなくなつたのかもしれない。確かに良い友達を得ることは、リスクを冒すだけの価値があります。自分が人と親しくなることにより自

分が傷つけられることもありま。人間関係に過大な期待を持つてしまうことで自分が傷つけられるのを避ける為には、どうしてその関係を深めていきたいのか、どの位まで深めるのが丁度良いのか、と自分に常に問いかけなければなりません。人間関係とはゆっくり時間をかけて、気を付けながら、心からの交流とお互い分かち合うことで築いていくのが一番の方法なので

『他人のことはかまうな？』

公の場で中絶反対のデモをしている生命擁護活動家のグループは、通りすがりの人々から様々な意見をもらいます。その中には肯定的な意見も否定的な意見もあります。このような意見の一つが、他人のことをかまっていないで家へ帰れ」と言う忠告です。

「他人のことはかまうな」。これもおもしろい忠告ですよ。実際、そうしたら、ずいぶんと気楽な生活が送れるでしょう。私達は家に帰り、ホームレスや飢えた人達のことを忘れることができるでしょう。それを「彼らの問題だ」と言って片づけてしまうこともできます。私達は自分のことだけを気にしていればよいので

す。失業者や貧しい人達、身よりのない人達のことを忘れることができます。何と言っても私達は自分のことだけをしっかりとやってさえすればよいのですから。私達は麻薬売人や幼児虐待者、野蠻人や放火犯のことをもはや心配する必要はないのです。

また、エイズに感染した人達のことや戦火にある国々のことを考える必要もなくなるでしょう。…これら全てのことを忘れて、自分達のことだけを気にしていればよいのです。実は、この忠告はとても古くからあるものなのです。人類史上初めて、カインが自分の弟アベルを殺した後で、彼は神にこ

ビデオ『沈黙の叫び』をみて愛によって新しいいのちを私は、妊娠中絶』のビデオを見て、大変大きなショックを受けました。生命の誕生というのは、本当に素晴らしいものだと思えます。それを、親の勝手な理由で簡単に殺してしまうのは恐ろしいことです。本当に言うと、妊娠中絶が良いか悪いかは良く私には分かりません。快樂のために遊びほつけて出来た子どもなどは、自分の責任であり育てるべきだ

と思います。しかし、犯罪によって出来た子どもはどうでしょう。か。生まれてきた子ども、母親も、一生いやな重い問題を抱えて生きていかなければなりません。この事を考えると分からなくなるのです。いづれにせよ、妊娠中絶は良くないことだと思えます。あの様な機具で胎児をぐちゃぐちゃにしてしまうなんて、身震いがするようです。夫婦愛によって新しい命を生み出す事は素晴らしいこととを、主張したいと思えます。

F・Sさん(高三生)

う尋ねました。「私は弟の番人でしょうか?」この問いに対する答は「イエス」です。私達キリスト教徒には「自分達自身」をかまう以上の高潔な使命があるのです。どこであるかと、どのようにであるかと、私達の兄弟姉妹が苦しんでいるとしたら、それは私達の問題なのです。現在、私達の兄弟姉妹のうち最も無防備なのは子宮の中の赤ん坊達で、毎日四千四百人もが中絶によって殺されています。そして、彼らの母親もまた犠牲者なのです。なぜならば、彼女達は子どもを面倒を見るために必要な手助けを得られていないからです。中絶はまた、彼女達を肉体的にも精神的にも傷つけています。

もし私達が赤ん坊達を愛しているなら、そして、もし私達がその母親達を愛しているなら、中絶問題は私達に関係ないものではなく、私達の問題なのです。カインの安易なアドバイスを聞くのをやめ、その代わりにキリストの挑戦的な教えに従う時なのではないでしょうか? 「これが私の掟です。私があなた方を愛したように互いに愛しあいなさい。」という教えを。中絶に対して「ノー」と強く言い、母親と子どもが真に必要としているものに対して「イエス」と言う時なのです。これはキリスト教徒の問題なのです。これは愛の問題なのです。

(フランク・A・ペイボン)



日本プロ・ライフ・ムーブメント事務所

〒780-0862 高知市鷹匠町2-1-33

(新住所です)

電話/Fax: 088-873-3619

e-mail: prolife@i-kochi.or.jp

http://www.japan-lifeissues.net

For English Speaking People / evening: Tel/Fax: 088-843-0406 Email: jerry@star.quolia.com

事務所時間:

月一金 10:00 - 17:00

土曜日 休み

日曜日 休み

会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円
一万円 五千円 一千円

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さいのちを大切に育みましょう。

御送金

銀行: 四国銀行朝倉支店

口座番号: 0573553

日本プロ・ライフ・ムーブメント

郵便局: 「郵便振替」

口座番号: 01660-5-39607

日本プロ・ライフ・ムーブメント

事務所便り

皆様お元気ででしょうか。子どもの頃は時間の経つのがゆつくりで、期待を込めて『早く来い来いクリスマスとお正月』と待ったものでしたが、大人になると月日の流れがとて早く、やり残していることへのある種の焦りのようなものを感じながら、『もうクリスマス、もうお正月』と思っています。もつと年をとった時、どのように感じるようになるのでしょうか。

同じものを迎えるにしても、人はその捕らえ方、感じ方がちがっている、様々な意見が出て当然なのでしょう。一つの事を決めて行く時、沢山の意見のまとめ方を学びながら、今年も最後の月を迎えました。今年一年、皆様が事務所の方に心をかけ精神的・物質的な御支援や心のもつた御忠告などお送り下さいました事を思い出しながら感謝しております。

精神的(祈り)御支援によってきつとこの運動は支えられていると思います。また、物質的(金銭的)な御支援がなければ、いくら思いは強くても実際にはやり通すことができません。今年はニュースは二ヶ月に一回の発行となり、一回の発送枚数も少なくなり、社会への働きかけが少し弱くなりましたが、今のような社会状態の中で、つぶれずにやれて来れたのは守られているという感じとともに皆様お一人お一人に恵まれているからです。また、この紙面だけではなく、上記のアドレスのインターネット上で沢山の記事を流しはじめています。これらの記事のための翻訳料、ニュース発送のための印刷代と切手代金、事務所の管理費などに皆様からいただいた金額を使わせていただいております。

どうぞこれからも変わらない御支援をお願い致します。来年こそは小さなのちにとって、平和な年となりますように。

(日本プロ・ライフ・ムーブメント)

(1ページから)

人間の善意と一体化した神の恩寵はどのような状況下においても絶対となる、と言われていることはまさしくその通りなのです。

この会報に載っている記事を読めば、希望こそが罪もないものや弱きものを守るために私達が一生懸命している全ての礎であることが、はっきりとわかっていただけるでしょう。いのちが救われ、心が癒されるのは、私達が神に希望を託

中絶・不妊手術を強制的に行い非難される、中国のある地方

国をあげての一人っ子政策推進のため、女性に不妊手術を強制していた地方役人に、中国『家族計画』省は非難の立場を表明したとある新聞が報じた。

広東省南部の懐集という貧しい地方の役人は、『他の避妊方法に関する情報を一切与えず、女性に不妊手術や避妊リングを施していた。この件に関してチャイナデイリー紙は、家庭委員会の女性スポークスウーマンのツァオ・ベイジの声

を次のように引用している。

「政府がそのような推奨をした覚えはない。懐集の役人は直ちにそれを中止し、『国の家族計画方針にのっとって役人を再指導すべきである』と要請した。本件に関する詳しい情報は入手できていないが、情報筋や人権活動家によると、懐集で大勢の女性が規則をやぶって2人以上の子どもを産むようになり、役人は中絶・不妊手術を強制したようだ。

中絶・不妊手術の強制は、中国政府に

し、神の愛に満ちた慈悲のことを深く考えてみるからなのです。

私達が人間でなく神に仕えようと努力する時、私達が祈り、断食し、行動することで、人間の尊厳を忘れてしまっている国家や世界にいても、私達が文字通り希望を取り戻すことが出来ることを決して忘れないようにしましょう。いかなる時も、希望を持ちましょう。

ノボトニー・ジェリー .com

よる出生率割り当てを地方が死守するために始めた、いわば政府の厳しい家族計画の副産物である。2人以上子どもをもつた夫婦には法外な罰金が課され、居住権を奪われ、拳句にはブルドーザーで家を取り壊されてしまう。余分な子どもは地区の学校から通学を断られることも多い。

極端な例では、すでに3人子どもがいる知的障害者の女性が産んだ子どもを溺死させたとして、昨年、役人3名が家族計画省に訴えられ裁判されたに

なっている。 残忍な事件を黙認してまで、政府は人口増加を食い止め、この10年でおよそ3億の出生率低下をもたらした一人っ子政策を続ける。

ツァオ・ベイジ氏によると、委員会では構造改革を続け、強制的事件の減少を目指している。政府は、女性が避妊手段を選択でき、むやみに子どもを増やすのを思いとどまらせるよう、定期的に働きかけていくだろう。